津山ウォーカブルシティの形成による持続可能なまちづくり

FLP 地域公共マネジメント　根本ゼミ①

期末成果報告書

A 生

早川果穂　伴場琉寧　和田悠太

〈目次〉

1. はじめに
2. 津山市の現状
3. テーマ設定
   A. 課題解決のために
   B. 津山市の観光の現状
   C. 津山市の観光に対する現状分析
4. 政策提言：歩いて楽しい津山ウォーカブルシティ
   A. ウォーカブルシティの概要
   B. 津山市においてウォーカブルシティ推進が適している理由
   C. 先行事例
   D. 具体案
      (a)歩行者・自転車利用者空間の整備
      (b)商店街の活用
      (c)観光プロモーション
5. 結論
6. 謝辞
7. 参考文献

1. はじめに

本報告書は、津山市の現状から見える若年層の流出と雇用減少を防ぐため、津山市の観光業の活性化を通じて、結果として地域経済の発展と雇用創出を実現することを目的とした政策を提言する。津山市の観光業の課題点発見から、課題改善につながると考えた政策を提言する。

2. 津山市の現状

津山市が現在抱えている課題の中で、若年層の流出と雇用減少について取り上げる。まず津山市の人口推移をみると、合併後の現在の津山市になった 2005 年から 2017 年にかけて 15－64 歳の生産年齢人口は 20%減少した。人口減少の要因としては自然減と社会減があるが、自然減に関しては少子高齢化という日本全体の現象であると考えられるため、今回は社会減に着目する。令和 4 年度の『津山市統計書』より社会動態をみると、平成 25 年から令和 3 年にかけて継続的な人口転出がみられ、近年にかけて悪化傾向にある。2010 年から 2015 年にかけての年齢階級別人口移動を見てみると、15 歳－19 歳が 20 歳－24 歳になるタイミングでの転出超過が目立っている。また、第二期『津山市まちひとしごと創生総合戦略』の高校生の就職意識調査より、進学希望者のうち津山圏域希望者は男性が 6.4%、女性が 17.4%、就職希望者のうち津山圏域希望者は男性が 26.9%、女性が 27.9%である。以上のことから、大学進学や就職で地元を離れる「18 歳の崖」が顕著に表れていることが分かる。

雇用減少に関しては、令和 4 年度の『津山市統計書』より農林漁業、鉱業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業、複合サービス事業サービス業（他に分類されないもの）分野の民営事業者数及び従業者数の変遷を見ると、平成 21 年度から平成 28 年度にかけて 506 事業者の減少及び 2471 従業者の減少がみられる。また、平成 27 年度の『津山市まちづくり調査結果報告書』によると、「商業の振興」の項目での重要度が 100 点中 81.2 点なのに対し、満足度が 100 点中 57.5 点、「中心市街地の活性化」の項目での重要度 76.7 点満足度 33.6 点、「企業誘致と雇用の確保」の項目で重要度 85.5 点満足度 39.4 点、「地域内就職の促進」の項目で重要度 84.7 点満足度 41.7 点、「工業の振興」の項目で重要度 81.2 点満足度 45.0 点と、「経済を発展させ働く場を維持するために」に必要な雇用などにつながる経済活動全般的な施策に関する 5 項目すべてにおいて、市民の重要度と満足度が乖離している。以上の現状から、津山市における若年層の継続的流出は、雇用機会の減少によるものだと考えられる。

①雇用機会の減少
②若年層の流出
③働き手と消費の減少
④地域経済の縮小

→①に戻る

という悪循環が現在の津山市では形成されている。

図 1　出典： RESAS 地域経済分析システム

人口の社会増減 － RESAS 地域経済分析システム（2025/1/24 に最終アクセス）

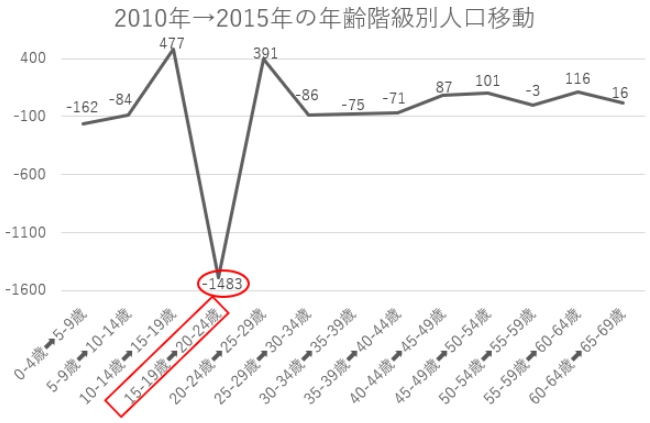


図 2　出典：岡山県津山市「2022 津山市統計書」

令和 4 年度版津山市統計書（2025/1/24 に最終アクセス）

人口動態（うち社会動態のみ）

	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
社会動態増減	△ 412	△ 381	△ 492	△ 397	△ 219	△ 278	△ 225	△ 238	△ 475

図 3　出典：岡山県津山市「2022 津山市統計書」

令和 4 年度版津山市統計書（2025/1/24 に最終アクセス）

農林漁業、鉱業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業、複合サービス事業サービス業（他に分類されないもの）分野の民営事業者数及び従業者数の変遷（前年比）

	平成21年	平成26年	平成28年
事業者数	5,561	5,176（△385）	5,055（△121）
従業者数	47,100	46,381（△719）	44,629（△1752）

図 4　出典：岡山県津山市「津山まちづくり調査結果報告書」

20160531115220020823 7.pdf（2025/1/24 に最終アクセス）

津山市まちづくり調査結果報告書（平成27年）

		満足度	重要度
経済を発展させ 働く場を維持するために	商業の振興	57.5	81.2
	中心市街地の 活性化	33.6	76.7
	企業誘致と雇用の 確保	39.4	85.5
	地域内就職の促進	41.7	84.7
	工業の振興	45.0	81.2

他出典：総務省「国勢調査」

統計局ホームページ/令和 2 年国勢調査/調査の結果（2025/1/24 に最終アクセス）

岡山県津山市「第二期まちひとしごと創生総合戦略」

r1-12-20-senryaku.pdf（2025/1/24 に最終アクセス）

3. テーマ設定

A. 課題解決のために

津山市の商業や製造業をはじめとする主な産業の中で、津山市特有の歴史的建造物、産業観光施設などを活かすことができる観光業を利用し地域活性化を目指す。観光庁の旅行・観光産業の経済効果推計によると、観光消費による域外マネーの獲得は直接効果としての宿泊業や飲食サービス業だけでなく、間接効果として製造業、卸・小売業、運輸業等幅広い産業に生産波及効果をもたらしている。これの生産波及効果により、301 万人の雇用効果があるとされている。津山市の観光業による地域経済の活性化の流れを以下のように考えた。

① 津山市に来る観光客が複数の観光地を巡る
② 津山市の滞在時間が増加する
③ 観光消費が拡大する
④ 観光にまつわる業種の需要が増加する
⑤ 雇用創出・拡大
⑥ 地域経済の活性化

B. 津山市の観光の現状

津山市の観光の特徴として、鶴山公園や城東伝統的建造物群保存地区などの歴史的建造物や津山学びの鉄道館に代表される産業観光施設などが、JR 津山駅から北側に放射状に点在していながらも、それら主要観光資源が徒歩 30 分圏内にあることが挙げられる。

しかし、令和 6 年度の津山市観光動態調査の津山市内来訪先数によると、一ヶ所（鶴山公園、津山、まなびの鉄道館）が 62%、二ヶ所が 19%、三ヶ所が 13%という結果がみられる。また、日帰り来訪者の津山市内滞在時間によると、4 時間以上の滞在する来訪者は全体の 53.3%、4 時間未満は 45.5%と平均滞在時間は 3.7 時間と低い結果がみられる。さらに、令和 5 年度岡山市観光統計より宿泊者の割合を比較すると、岡山市を訪れる観光客のうち岡山市内で宿泊をした観光客の割合が約 28%であるのに対し、津山市を訪れる観光客のうち津山市内で宿泊をした観光客の割合は約 15%と低いことが分かる。津山市はいわゆる通過型観光地といわれる現状にある。

図 5　出典：岡山県津山市「令和 6 年度津山市観光動態調査」

令和 6 年度津山市観光動態調査 結果報告について - kokosil 쓰야마（2025/1/24 に最終アクセス）

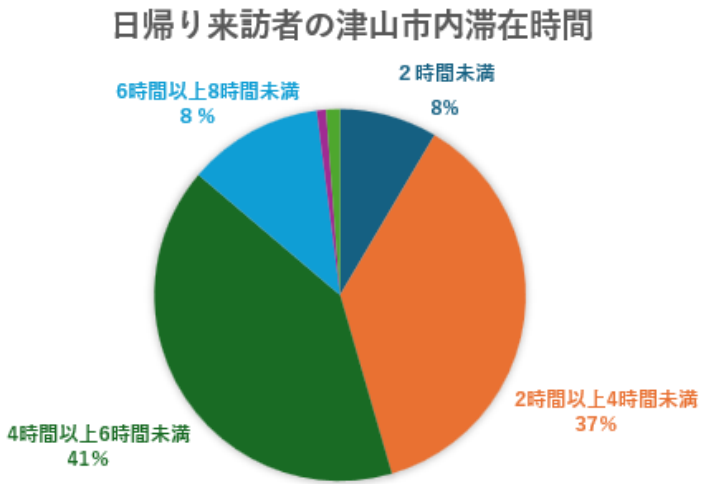
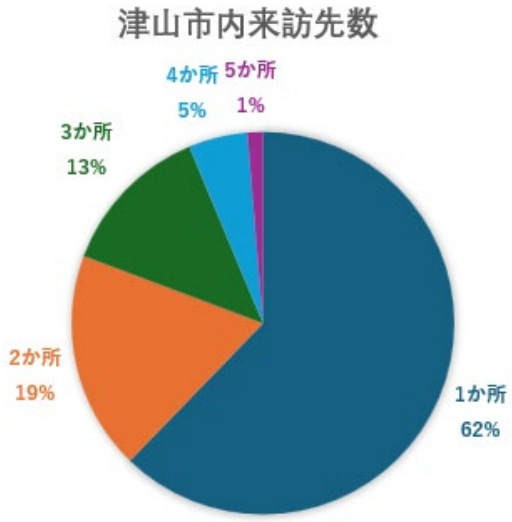


図 6　出典：岡山県津山市「令和 6 年度津山市観光動態調査」

年度津山市観光動態調査 結果報告について - kokosil 쓰야마（2025/1/24 に最終アクセス）



他出典：令和 6 年観光庁「観光による地域経済活性化に関する調査研究報告書」

経済波及効果 ｜ 観光統計・白書 ｜ 観光庁（2025/1/24 に最終アクセス）

岡山県岡山市「令和 5 年度観光統計」r5_kankoutoukei.pdf（2025/1/24 に最終アクセス）

C. 津山市の観光に対する現状分析

なぜ豊富な観光資源がありそれらが密集しているにもかかわらず、滞在時間の短い日帰り観光客が多いのだろうか。それは、観光地同士の相互作用が働いていないからだと考えた。津山市の観光の現状について以下のように考えた。

① 観光地の点在→観光客にとって分かりにくい動線を生んでいる
② 回遊性の低下→観光地間の移動意欲の低下を生んでいる
③ 滞在時間の短縮→追加的な観光消費機会の損失を生んでいる
④ ①・②・③の結果、観光消費額の低下、宿泊需要の低下を招いている

4. 政策提言：歩いて楽しい津山ウォーカブルシティ

A. ウォーカブルシティの概要

ウォーカブルシティとは、自動車を使用せずに徒歩や自転車、バスなどの公共交通機関によって移動できる街のことであり、都市空間を自動車中心から人中心へ転換することである。人中心の豊かな生活空間を実現させるだけでなく、地域消費や投資の拡大、観光客の増加や健康寿命の延伸など、その地域の課題解決や新たな価値の創造を目指すものである。ウォーカブルシティ形成に必要な要素としてストリートの機能があるが、大きく分けて二つの機能に分けられる。一つ目はリンクであり、本来道路が担う快適な「移動」の機能である。この機能が低下すると物流などに影響が出る。二つ目はプレイスであり、休んだり佇んだり交流したりする、時には目的地にもなるような「滞留」としての機能である。この機能が低下すると、歩きたくなる街、歩いて居心地の良い街ではなくなる。ウォーカブルシティを形成するには、道路のプレイスの機能を高めながらもリンクとしての機能を落としすぎないようなバランスの取れた施策が必要である。

出典：国土交通省「ストリートデザインガイドライン-居心地が良く歩きたくなる街路づくりの参考書-（バージョン 2.0）」001403589.pdf（2025/1/24 に最終アクセス）

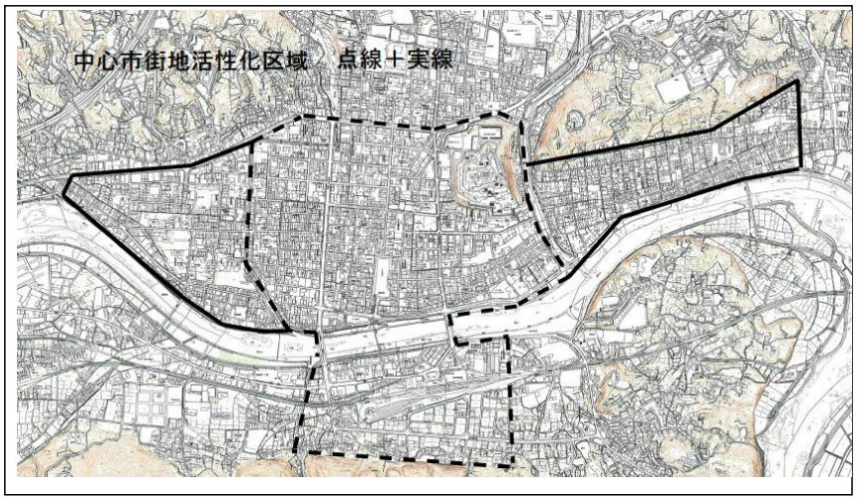
B. 津山市においてウォーカブルシティの推進が適している理由

津山市は前述の通り、主要観光地が JR 津山駅を中心に徒歩 30 分圏内に広がっている。津山市は、下図の範囲内を中心市街地と設定している。この中心市街地は徒歩 30 分圏域だということができ、さらにこの範囲内には鶴山公園、城東伝統的建造物保存地区、津山まなびの鉄道館、つやま自然のふしぎ館などの主要観光地が含まれている。この中心市街地を津山ウォーカブルシティと設定して、この域内に点在している観光地間を徒歩で移動することによって、観光地間の道のりそのものを観光の一部とすることができる。また、徒歩での移動中に飲食や商店での購買意欲を促進できると考えた。さらに、津山市は令和

6 年 3 月からシェアサイクルごんちゃりを導入しており、観光客に車以外の移動手段が用意されている現状にある。自転車を使って効率よく移動したい観光客や、徒歩では関節への負担が大きいと考える観光客へ第二の足としての機能が期待される。

図 7　出典：岡山県津山市「津山市中心市街地活性化の構想」

津山市中心市街地活性化の構想（2025/1/24 に最終アクセス）



C. 先行事例

まちのウォーカブル化によってにぎわいを創出する取り組みを行った自治体の例として、静岡県沼津市を挙げる。沼津市は令和 5 年 7 月 14 日から令和 5 年 12 月 26 日にかけて、「OPEN NUMAZU 2023」を実施した。①まちなかへの来訪・滞在を誘発する、②市民のまちの変化に対する期待及び地域の公共空間利活用に対する機運を醸成する、③ヒト中心のまちづくりに関わる人の裾野を広げるという実施目的を掲げて、市の中心商店街である沼津仲見世商店街の周辺にて行われた。くつろぎ空間づくりの概要としては、①イス・テーブル・植栽等をレイアウトしてまとまった滞在空間を作る、②週末に①の空間内や隣接したスペースに出店・ワークショップを実施、③回遊を促すため空き店舗も活用された。さらに、車道二車線のうち北側一車線を歩行者空間に設定した。以上の取り組みによって、沼津市は通常に比べて、商店街の歩行者通行量が約 1.5 倍増加、商店街の滞留者数が約 2.2 倍、来訪者の約 80%の滞在時間が増加した。

出典：静岡県沼津市「沼津市定例記者会見発表」「OPEN NUMAZU 2023」の実施結果

PowerPoint プレゼンテーション（2025/1/24 に最終アクセス）

D. 具体案

(a) 歩行者・自転車利用者空間の整備

津山ウォーカブルシティ形成にあたって滞在時間の増加を図るために、歩行者・自転車空間の整備をする必要がある。これを実施するにあたって以下の案を考えた。

（ア） 歩行者・自転車専用レーンの設置
（イ） 駐車場の整備
（ウ） ごんちゃりのポート数増設

（ア）については、津山ウォーカブルシティに設定した中心市街地内全域を対象に歩道の拡大と、道路の両側に自転車レーンを設け塗装を行うことで安全性を向上する。

（イ）については、津山ウォーカブルシティ設定地区の周辺に駐車場を設置する。シティ内の自動車流入を抑制し徒歩を推奨する「パークアンドウォーク」を促進する。

（ウ）については、令和 7 年 1 月 9 日現在 10 か所に設置されているポート数を、他の主要観光地に増設することで、ポートがない観光地を観光する際の利用料金継続発生問題を改善する。

出典：津山市公式サイトつやまシェアサイクル「ごんちゃり」 | 津山市公式サイト
（2025/1/24 に最終アクセス）

(b) 商店街の活性化

プレイスの機能の向上を図るためには商店街の活性化をする必要がある。これを実施するにあたって、以下の案を考えた。

（エ）定期的なイベント開催
（オ） 空き店舗活用の促進

（エ）については、マルシェや音楽祭、夜市などの月例イベントの開催や、津山市の特徴を生かしたさくらや食、お酒のイベントを開催。会場となる対象商店街は、JR 津山駅から近く、合計店舗数が多い一方で空き店舗率の高いソシオー商店街や、同じく JR 津山駅から近く、住居率が高い城南商店街に設定する。商店街においては市民の生活空間でもあるため市民に対してもウォーカブルシティを認識してもらうことができる。また、空き店舗を活用した出店を行うことで空き店舗活用ができる。

（オ）については、既存の「津山市空き店舗等活用支援事業補助金」の認知度を向上することで、観光関連事業者による空き店舗活用を促進する。

出典：津山瓦版 b72e78407ab91f0afdae89299fb2603d393499e1.pdf（2025/1/24 に最終アクセス）
住まいる岡山岡山の不動産(賃貸・売買）情報 - 住まいる岡山（2025/1/24 に最終アクセス）

（c）観光プロモーション

回遊性の向上、観光客の誘致を図るために、観光プロモーションをする必要がある。これを実施するにあたって以下の案を考えた。

（カ）移動手段別観光ルートの提案
（キ）観光スポット間を結ぶストーリー性のある散策コースの展開
（ク） SNS を活用した「歩いて楽しい津山ウォーカブルシティ」の宣伝

（カ）については、徒歩またはごんちゃりの移動手段別・所要時間別のルートを一枚の地図にし、津山市公式サイトに掲載もしくは津山市の玄関口である JR 津山駅にて無料配布する。

（キ）については、歴史的人物の足跡をたどり、要所で歴史情報を提供するオブジェクトを設置する。例として、コーヒーに「珈琲」の漢字をあてた津山藩の蘭学者宇田川榕菴にちなんだ津山市内のカフェ巡り等。

（ク）については、Instagram や X におけるハッシュタグキャンペーンやインフルエンサーの誘致を通して、津山市自体の認知度を向上する。

5. 結論

雇用創出のためには地域経済を活性化させる必要がある。そこで、津山市の中心市街地を「津山ウォーカブルシティ」に設定することで、以下のサイクルが生まれると考えた。

① ウォーカブルシティの形成
② 滞在時間の延長、観光消費の拡大
③ 観光にまつわる業種の需要増
④ 雇用創出・拡大
⑤ 地域経済の活性化

観光の活性化を手段として地域経済を活性化させ、結果として観光業に限らず幅広い業種においての雇用創出を目指す。

6. 謝辞

ご多忙の中、貴重なお時間を割いて今回のサマースクールでのご協力いただきました津山市役所商業・交通政策課の皆様に改めて感謝申し上げます。

7. 参考文献

・RESAS 地域経済分析システム（人口の社会増減 - RESAS 地域経済分析システム）
（2025/1/24 に最終アクセス）

・岡山県津山市「2022 津山市統計書」（令和 4 年度版津山市統計書）

（2025/1/24 に最終アクセス）

・岡山県津山市「2022 津山市統計書」（令和 4 年度版津山市統計書）

（2025/1/24 に最終アクセス）

・岡山県津山市「津山まちづくり調査結果報告書」（20160531115220020823 7.pdf）
（2025/1/24 に最終アクセス）

・総務省「国勢調査」（統計局ホームページ/令和 2 年国勢調査/調査の結果）

（2025/1/24 に最終アクセス）

・岡山県津山市「第二期まちひとしごと創生総合戦略」（r1-12-20-senryaku.pdf）
（2025/1/24 に最終アクセス）

・観光庁「観光による地域経済活性化に関する調査研究報告書」

（経済波及効果 | 観光統計・白書 | 観光庁）（2025/1/24 に最終アクセス）

・岡山県津山市「令和 6 年度津山市観光動態調査」（令和 6 年度津山市観光動態調査 結果報告について - kokosil 쓰야마）（2025/1/24 に最終アクセス）

・岡山県岡山市「令和 5 年度観光統計」（r5_kankoutoukei.pdf）

（2025/1/24 に最終アクセス）

・国土交通省「ストリートデザインガイドライン-居心地が良く歩きたくなる街路づくりの参考書-(バージョン 2.0)」（001403589.pdf）（2025/1/24 に最終アクセス）

・岡山県津山市「津山市中心市街地活性化の構想」（津山市中心市街地活性化の構想）
（2025/1/24 に最終アクセス）

・静岡県沼津市「沼津市定例記者会見発表」「OPEN NUMAZU 2023」の実施結果
（PowerPoint プレゼンテーション）（2025/1/24 に最終アクセス）

・津山市公式サイト（つやまシェアサイクル「ごんちゃり」 | 津山市公式サイト）
（2025/1/24 に最終アクセス）

・津山瓦版（b72e78407ab91f0afdae89299fb2603d393499e1.pdf）

（2025/1/24 に最終アクセス）

・住まいる岡山（岡山の不動産(賃貸・売買）情報 － 住まいる岡山）

（2025/1/24 に最終アクセス）